

# オンラインオリエンテーション に向けて（準備編）



3月中にこの資料に目を通し、様々なオンラインツールを利用する情報科学部の環境について理解を深めておきましょう。  
オンラインオリエンテーションは4/2に枚方キャンパスで配布される各種資料や学生アカウントにもとづいて実施されます。  
なお、この資料は大阪工業大学情報科学部を対象としています。

オンラインオリエンテーション運用WG,  
情報センター

# オンラインオリエンテーションに関する主要なスケジュール

## ■ 4/2 新入生ガイダンス

- ◆ アカウント配布やオンラインオリエンテーション説明を大学で行います。この日からオンラインオリエンテーションを実施できるので**4/2中に必ず着手**し、不安なことや分からないことがあれば必ず**4/3に自分のPCをもって対面サポート**に参加しましょう。

## ■ 4/3 13:00～17:00 対面サポート

- ◆ 枚方キャンパス6Fの第3,4演習室でオンラインオリエンテーションや履修登録についての対面サポートを実施します。健康診断前後の時間で質問等しにきてください。

## ■ 4/5 履修のための事前抽選1次~~〆~~切 (17:00厳守)

- ◆ 受講定員がある科目については事前抽選があります。抽選はGoogle Formsを利用して行われるため、事前にオンラインオリエンテーションを進めておく必要があります。

## ■ 4/5 オンラインオリエンテーション~~〆~~切 (17:00厳守)

- ◆ 授業で早速様々なサービスを利用するので、4/5までにオンラインオリエンテーションを必ず終わらせておきましょう。

## ■ 4/6 履修登録開始

- ◆ 履修のための事前抽選の結果が4/6に履修登録システムで発表されます。追加で登録したい抽選対象科目がある場合は2次抽選に応募しましょう。

# はじめに

- 2018年度の国の方針により、教育の質の向上や、学生の主体的な学びの推進、生涯を通じた学習機会の創出などのために、大学でも**教育の情報化(ICTの導入)**が進められています
- 2020年度から続くコロナ禍下では、多くの大学が教育機会が喪失しないようにオンライン授業などICTを活用した教育を試みました
- 情報科学部では、このノウハウを前向きに展開し、皆さんが様々な状況下でも充実した学びの場や機会が得られるよう、**ICTを積極的に活用した取り組み**を進めます

# ICTサービスを活用した教育実現に向けて

## ■多様なICTサービスを活用し、情報科学部として下記の実現を目指します

- ◆ キャンパスを活用した対面授業を軸としつつ、遠隔地との連携や高度な情報共有等、より効果の高い教育機会を提供する
- ◆ コロナ禍に限らず、どのような状況下においても学生による主体的な学びをサポートし続けるための柔軟で持続可能な教育環境を提供する

## ■環境変化への適応やより高度な学びのためにICT技術を活用し、新しいことにチャレンジし続けられる**情報科学部**としての**専門的職業人**の育成を目指していきます

# 本学での授業実施形態

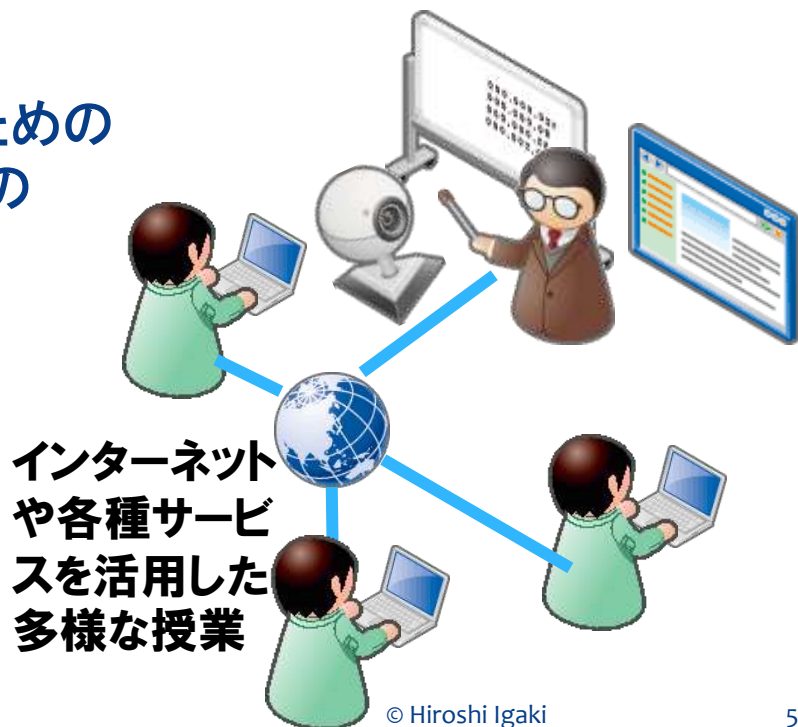
## ■ほとんどの授業は対面で実施されます

- ◆ 感染症の状況や台風・大雪などの天候事情によってはオンライン授業やハイブリッド授業が行われることもあります

## ■対面授業でも教育効果の向上を目的として様々な学修支援サービスが活用されます

- ◆ 授業ビデオの利用, グループワークのためのITサービス活用, 課題提出や成績配布のためのグループウェアの利用など

情報科学部の学生にとって, オンライン授業や多様な学修支援サービスに関する体験はこれから皆さんが学ぶ様々なことを含んだ**最高の教材**です。



# これからの学修環境に求められるもの

## ■必要な機器・機材とインターネット環境(後述)

- ◆ 自宅にも学修環境が必要となることがあります。備えておきましょう。

## ■多様なサービスへの習熟

- ◆ これからの情報社会では常に新しいサービスやツールに習熟し続けていくことが求められます。本学部でも様々なツールを活用し、授業を実施していく予定です。積極的に活用し、慣れていきましょう

## ■自分で学修しようというモチベーション

- ◆ 自分で学ぶという意識をしっかりと持ってください
- ◆ 高校までと違い、大学は**学生が自ら学ぶこと**を助けるために存在します
- ◆ 対面・オンライン関係なく分からないことは**自分から質問して**解決しましょう
- ◆ 待っているだけで得られることは何ともありません

## ■規則正しい生活

- ◆ 早く起きて早く寝る生活を継続的に行うよう心がけましょう
- ◆ **×切**を必ず守りましょう

# 必要な機器・機材

## ■ 講義資料や講義ビデオの閲覧, オンライン講義

- ◆ パソコン(スピーカー必須. マイク・Webカメラはオンラインでグループワークを行う授業や音声・画像を扱う授業で使います)
- ◆ スマホ・タブレット(必須ではないですが資料閲覧・課題提出や講義ビデオ閲覧・オンライン講義の参加用にあると便利です)

## ■ ヘッドセットやイヤフォンなどもあると周囲の環境への影響が減らせます

## ■ インターネット環境

- ◆ 様々な状況に対応するため, 安定してネットに接続できる環境が自宅にもあることが望ましいです



# インターネット環境(通信量と通信速度)

- 講義資料やビデオ等にアクセスするためにはパソコンがインターネットに接続できる必要があります
- 考慮すべきは通信量と通信速度
  - ◆ ビデオ講義などファイルサイズの大きなものを見るためには多くの通信が必要です(通信量はファイルサイズに依存します)
  - ◆ ビデオ講義のストリーミング配信などでは、一定以上の速さで通信が行えないと再生がSTOPしてしまうこともあります
- 資料閲覧のみであれば数MB(メガバイト)程度、講義ビデオやライブ講義閲覧が必要であれば一時間当たり300~500MB程度の通信量と5~10Mbps(メガビーピーエス)程度以上の通信速度が必要となります



# 多少具体的な話(通信量と通信速度)

- オンライン講義を1時間受けると概ね300MB～500MBの**通信量**が必要
  - ◆ オンライン講義が1日3時間程度あると1日に1～2GB程度の通信量が必要になります
- マイク等を用いたグループディスカッションなどの場合5Mbps程度の**通信速度**が推奨されています
  - ◆ YouTube等の通常の動画閲覧であれば500Kbps～1Mbps程度
- 通信量や通信速度の単位はコンピュータ入門という授業で学習します

# 通信速度を計測してみよう！



大学でのダウンロード速度の例

## ■インターネット速度テストサイト (学外サービス)

- ◆ <https://fast.com/ja/>
- ◆ 数MB程度のファイルがダウンロードされるので、従量制や制限の厳しいネット環境を利用している学生はアクセスしないこと

## ■オンラインオリエンテーションの途中で下記を質問するので、表示される通信速度を記録しておきましょう

- ◆ 自分が契約・利用している回線の通信量・通信速度の**契約上の上限**を確認すること(パソコンから接続するものだけで構いません)
- ◆ **単位がGbps, MbpsかKbpsのどれか**よく確認しましょう
- ◆ 引っ越し前なのでまだ分からない場合等の場合は構いません

### 参考文献

DTI, “1GB (ギガバイト) で何時間動画を観られるの?”, [https://dream.jp/mb/tips\\_m/wifi19.html](https://dream.jp/mb/tips_m/wifi19.html)  
Google, YouTubeヘルプ: システム要件, <https://support.google.com/youtube/answer/78358?hl=ja>

# アカウントの話

## ■4/2にアカウントを配布します

## ■本学の学生が利用するサービスは大きく分けて2種類あります

### ◆ 学内サービス

ユーザID「e1?24\*\*\*」でサインインできる

- ポータル, 履修登録システム, 演習室Linux環境, 本学無線LAN, VPN等
- ?には学科ごとのアルファベットが入ります

### ◆ 学外サービス

組織アカウント「e1?24\*\*\*@oit.ac.jp」  
でサインインできる

- Microsoft 365
- Google Workspace for Education

## ■両方ともメールアドレス「e1?24\*\*\*@st.oit.ac.jp」とは異なるので気をつけること

# 情報科学部で利用する多様なサービス

- 4/2配布のアカウントおよび資料を用いて以下の多様なサービスの使い方の一部を授業開始 まで (4/5~~切~~) に学習してもらいます
  - ◆ 授業によっては下記以外のツールを活用することもあります
- 分からないこと、不安なことがある場合は**必ず4/3の対面サポート**に**自分のPCを持って**参加し、解決しましょう
- 大学ポータル, 履修登録システム, オンラインシラバス, 学習支援サイト
- Microsoft365
  - ◆ Outlook, OneDrive, Teams, Teams bot, Forms, Stream
- Google Workspace for Education
  - ◆ Google Drive, Meet, Classroom, Forms
- VPNサービス

新しい多様なサービスの活用はこれからの情報社会において**必須の技能**です。分からないことは**自分から質問して**解決していきましょう。待っているだけでは何も得られません。